

「HelpMeTweet」システム説明書

2010/8/31

有限会社 HCC ソフトウェアエンジニアリング

1. システムの目的・コンセプト

地震や洪水など、災害は忘れたころにやってくる、と言われるように、私たちは、「自分は大丈夫だろう」と思っているのではないのでしょうか。災害に襲われた時、パニックにならずに、自分の安否情報を的確に外部に伝えることができれば、助かる命を増やすことができるのではないか、というのがシステムの目的です。

2. システム概要

「HelpMeTweet」は、携帯電話（スマートフォン）を使って、災害が発生した際に自分の安否状況等を「写真」と「音声を自動認識した文字情報」でツイッターに投稿することができるアプリケーションです。また、「HelpMeTweet」で投稿された「つぶやき」の内容を集約的に、地図上で確認することができます。

3. 特長

- ・必要な操作はアプリケーションを起動してカメラのシャッターを押してしゃべるのみ。それだけで投稿者の現在位置と撮影した写真画像付きの文字メッセージが Twitter に投稿されます。
- ・情報は Twitter に投稿されるため、世界中の多くの人に見てもらうことができます。位置情報も同時に付加されるため、周囲からの救助、援助が期待できます。
- ・地図情報と投稿情報を重ね合わせて表示することで、災害発生現場のリアルタイムな状況を的確に把握することが可能です。
- ・自分の周辺に同じアプリケーションを使っている人がいれば、(Twitter アプリケーションを用いて) メッセージの交換が可能です。

4. 機能概要

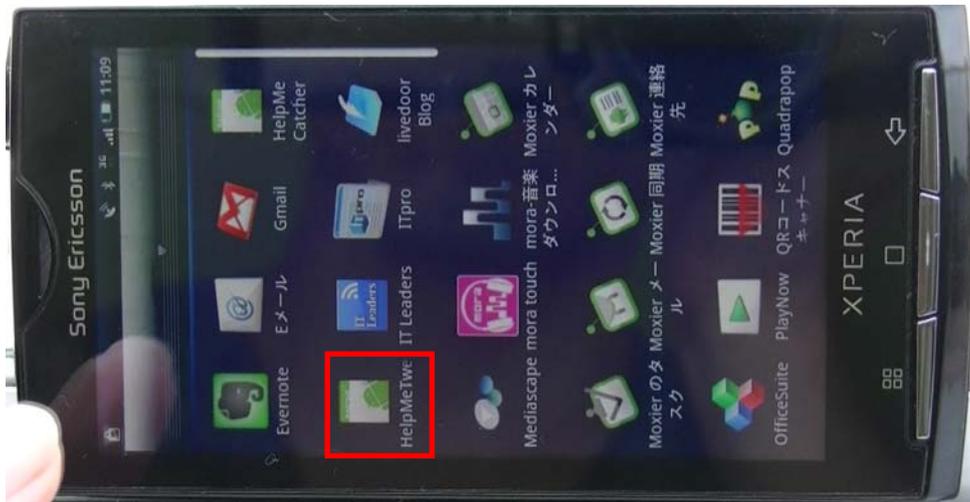
- | | |
|------------|-------------------------------------|
| (1) 投稿機能 | 写真と音声メッセージを Twitter に投稿します。 |
| (2) 地図表示機能 | 投稿された情報を地図上に集約して表示します。 |
| (3) 設定機能 | Twitter のユーザ・パスワード等、アプリケーションを設定します。 |

5. 動作環境

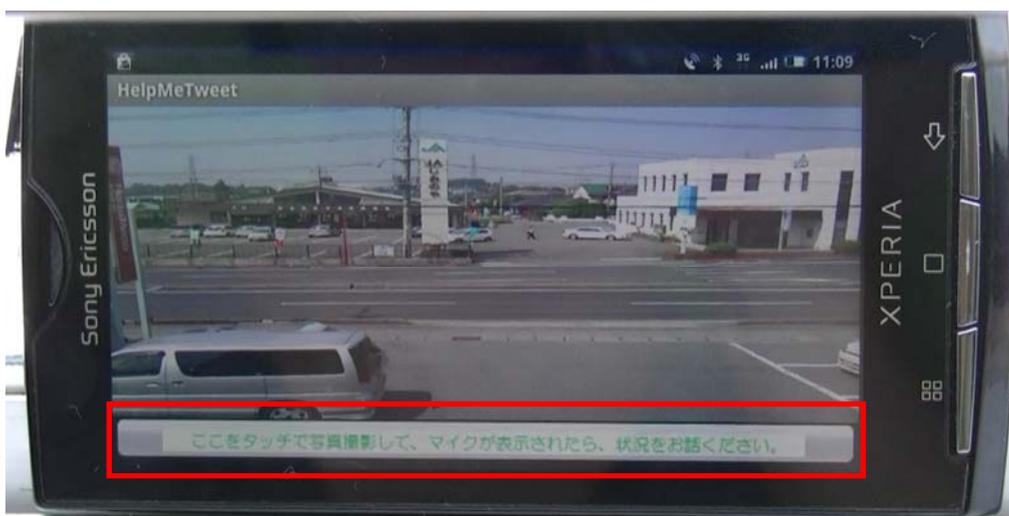
- (1) Android 1.6 以上対応スマートフォン (GPS 機能を ON に設定する必要があります。また Google 音声検索アプリがインストールされている必要があります。)
- (2) Twitter の個人設定で「ツイートに位置情報を付ける」が ON になっていること。

6. 使い方

6-1. メニューから、「HelpMeTweet」を起動する。



6-2. カメラが起動され、プレビュー画面が表示されるので、撮影したい方向を向いて「ここをタッチで写真撮影して、マイクが表示されたら、状況をお話ください。」の部分タッチする。



6-3. 続いて、マイクが画面に表示されるので、自分や被災地の状況など、投稿したい内容をマイクに向かって話してください。(できるだけはっきりと大きい声でお願いします)。



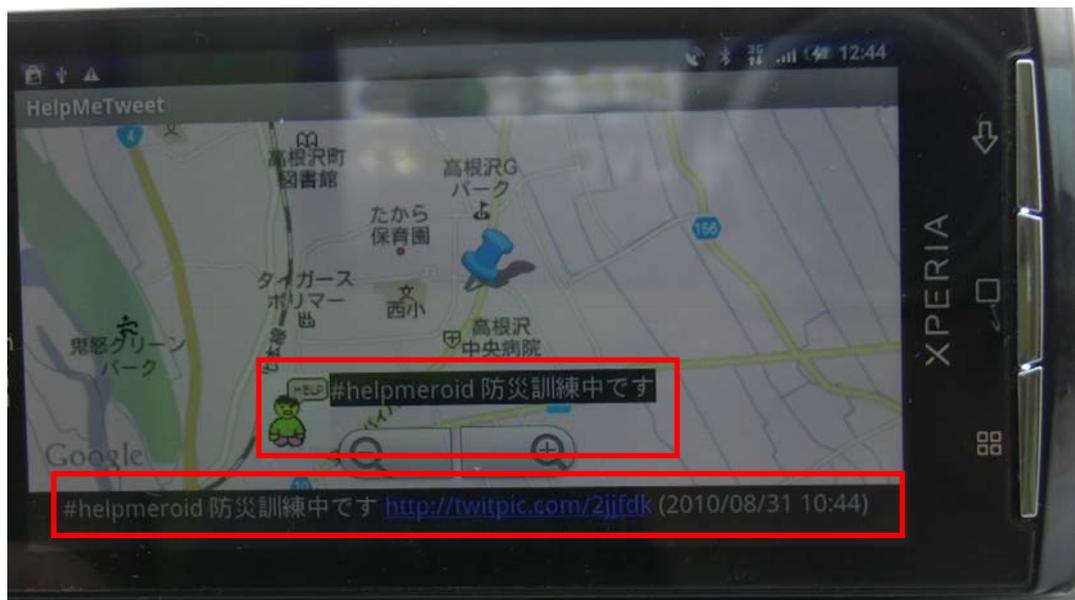
6-4. 話し終わると、音声を自動的に認識して、Twitter に画像とテキストが投稿されます。このアプリケーションから投稿した内容には、「#helpmeroid」というハッシュタグが自動的に付加されます。



6-5. 次に、このアプリケーションで投稿された情報を地図上で閲覧する手順です。アプリケーションのコンテキストメニューから「地図表示」をタッチします。



6-6. 自分の現在位置周辺の地図が表示され、本アプリケーションで投稿された位置にピンが表示されます（#helpmeroid のタグを持つ情報のみを抽出しています）。ピンをタッチすると、投稿された内容が表示されます。



6-7. 投稿された内容の画像リンク（例：<http://twitpic.com/2hzrcm>）をタッチすると、投稿者が撮影した写真を見ることができます。（外部 URL をブラウザで表示しています）



6-8. 投稿内容は、通常の Twitter クライアントでも見ることができるため、全世界の人々へ情報を発信することができます。



7. 制限事項

(1) 2010/8/31 現在、時間帯によっては、投稿内容が検索にヒットせず、地図上にピンが表示されない場合があります。(Twitter の仕様※1に依存しているためです)

※1 以下、http://jptwitterhelp.blogspot.com/2008/10/blog-post_04.html より抜粋

なお、上記の条件を満たしても一部の投稿が検索に出ないことがあり、ハッシュタグやキーワードで検索をしても自分のアカウントが反映しないこともあります。投稿毎に修復することができません。エンジニアが開発に努めていますのでしばらくお待ちください。

以上